

プロ野球 横浜ベイスターズ、牧選手が絶好調

上原 昇（2組）

長野県中野市出身でプロ野球、横浜 DeNA ベイスターズの牧秀悟選手（24 歳、背番号 2）の好調ぶりが連日メディアを賑わしている。

セ・リーグのペナントレースはまだ年間の4割程度消化したところ。

牧選手は46試合に出場して、6月5日現在、打率が.333で首位打者、打点も46で1位、本塁打は15本で1本差の3位とほぼ三冠王状態である。

昨シーズンは新人ながら打率.314のリーグ3位と好成績を残して、2年目となる今年は更なる期待のなかスタートした。4月には新型コロナウイルスに感染して欠場を余儀なくされたが、復帰後も2年目のジンクスなど心配無用の活躍ぶりである。

“ハマの若大将”とでも呼びたくなる、ベイスターズの若き四番打者は、このままいくと、初タイトル獲得も夢ではなさそうである。

日経新聞スポーツ欄（6/5付）の「気が早いのは承知の上だが、三冠王への期待も出てくる」という記事にも驚くことはない。

筆者は今シーズン開幕直後のHP投稿（3/28付）で「牧選手は首位打者の可能性あり」と予測しているだけに、今後のプレイに目が離せないところである。

最後に、比較することも少し憚られるが、Mr.ベースボールの長嶋茂雄さんの2年目（1959年度）の成績は、打率.334（首位打者）、本塁打27（3位）、打点82（4位）であった。



活躍を続ける牧秀悟選手

2022年6月6日記

以上